

ではなく業務時間の中で行うようお願いする。

① 非番の対応ありきは間違っている。「必要性を考慮して実施していく」と会社から回答があった。これからも業務時間内を基本とした勤務となるよう訴えていく。

○ 河口 裕 (間接部会)



① 安全 (春闘) について

② 各大会のフィードバックについて

③ 契約社員の方向性について

社員になったとしても、これまでの経験を活かすため、組合員の望む

職場で業務できるように柔軟に配属をして頂きたい。

④ 健康増進センターについて

① 労働協約については少しずつだがより良いものになっている。中央本部には配布を見て最後まで戦っていた。

② 本部や新幹線協議会に上申している。こまめにフィードバックできるように努力する。

③ 本人に希望を聞いて採用となっている。今後の課題として持ち続けたい。

○ 松尾 雄一 (広一支部)



(質疑)

① 介護休暇及びフレックスの拡大

② カップの更新について

③ グランドシニア

カップを防水性の高いものへ更新、改善していただきたい。

① 介護に認定されている状態であれば利用できる制度もあるかと思う。それでも対応できない事に関しては労働協約改訂要求をしなればと思う。

② 会社として課題認識している把握している。良いものがあり、値段の問題であれば会社に訴える要素は大きくなったと思うので今後も粘り強く要求していく。

○ 砂川 健一 (広一支部)



(質疑)

① 新幹線乗務員のあり方について

② 賃金実態調査をウェブ化してほしい。

③ グランドシニア

はあくまで需給対策であるため通常の担務に入れないシニア社員は対象外であると労使で確認している。一時的な要員不足のためにグランドシニア社員を採用するかは慎重な検討が必要である。

○ 長岡 由樹 (病院支部)



(質疑)

① 春闘について

② 独立行政法人への転籍について

③ 中でもベアにこだわ

④ 共済に限らず相手産別・単組と話を進めたいと思う。

○ 元上 博文 (工務部会)



(質疑)

① 会社提案について

② レールボンドの盗難について

③ 社員が納得できる施策となるよう、地本も含めて私たちが最後の砦としてしっかり交渉する。

④ 復旧に関しては、施設・電気が対応し、警備は施設で対応したと聞いている。警備等は部外能力を活用して対応するよう、会社に要求していく。

○ 北 卓朗 (広二支部)



(質疑)

① 広島車掌区の要員不足について

② 乗務員のホテル泊まりについて

③ 治安の問題

④ 会社の見込みが甘かったと思うので、所要員に対してしっかりと対応するよう要求している。

⑤ 女性用の乗泊がないため、近隣のホテルで代用しているものと認識している。設備の面で不安があるとのことなので、会社に改善要求をしていく。

市川書記長 総括答弁



① 安全の確立

② 政治と我々の業務は非常に密接な関係にあります。芸備線の第1回目の再構築協議会が開催されることから、広島地本として組織内議員と連携して注視していきます。

② 2024春闘

③ 組織強化・拡大

④ 業務課題への対応

⑤ こくみん共済COOPと交運共済

⑥ 政治活動